

木の家づくりを通じて暮らしを提案する

KoKoLab.

隔月刊ココラボ通信

NO. 97
2022 June

建築例 袋井市／『お茶畑助産院』

みんなの大切な場所
—地域と共に歩む助産院—

みんなの大切な場所

— 地域と共に歩む助産院 —

建築例

袋井市 / 『お茶畑助産院』

文・写真 / ココロポ 山崎健治

待合ベンチソファから中庭を眺める。木々の間から光が差し込み、心地よい風が流れる。ホールではお母さん達の勉強会が行われ、人と人がつながる場の大切さを実感した。

2019年の春に開業したお茶畑助産院さん、早いもので3年の月日が経過しました。ココロポ通信83号でも特集させていただきました。院長の高橋さんの思いや建築家としての道のり、また、建物の特徴などを紹介させて頂いていただきました。利用者や診察の動線が特徴で、どの部屋から見える中庭が建物の中心となっていてつくられています。助産院としての役割は診察や分娩、産前産後のケアが中心となりますが、高橋院長の描く助産院は「ママになるまで、ママになってみずと寄り添う助産院」がテーマ、ママになる喜びの場や、ママ同士のつながりの場を持つ事もとても大切だと考えていました。建物にはお茶畑が見渡せる明るく開放的なホールが配置され、連日様々なイベントや勉強会、教室などが行われています。ちょうど写真撮影にお伺いした日もスクリーンが行われ、小さなお子さんと一緒にママを始め、たくさんの方々が助産院でのひと時を楽しんでいました。計画当初の高橋院長の思いや夢、理想などがだんだんとカタチになり、助産院が地域と共に歩んでいる姿をとっても嬉しく思います。今回はお茶畑助産院のその後の様子をお伝えし、助産院の存在をもっと広く知っていただく機会になればと思います。



杉のルーバー天井が印象的の開放的なホール。様々なイベントや教室が開かれ、いつも活気で溢れている。大きな窓からはお茶畑が一望出来、道路から一段上がった展望台のようなウッドデッキも特徴的。



定期的に行われている『赤ちゃん会』、お茶畑助産院さんで出産された方が対象の、乳児検診とお母さんのおしゃべり会。気持ちの良いホールで、赤ちゃんもお母さんも伸び伸び。

人と人がつながる場 包まれた心地よい空間

助産院の中に入った瞬間、目に飛び込ん
でくるのは建物の中にぽっかりと空いた中
庭と杉のルーバー天井を主役とした木の空
間だと思えます。建物は板塀や植栽に隠れ
て外から室内を見る事が出来ない造りです
が、玄関から入るとすぐに開放的な空間を
感じる事ができます。助産院という性質上、
デリケートな相談を扱ったり、子供が出入
りするため安全性も考慮し、外部から見え
ず直接外とつながりを避けた口の字型に計
画しました。一步建物の中に入った瞬間か
ら木に包まれた安心感と、周りからの視線
を気にする事なく、診察や分娩などを行う
事が出来る動線や配置を心掛けたプランと
なっています。通常、部屋の明かりは南側
などの窓から確保する事が多いと思いますが、
口の字型の中庭プランでは、建物に囲
まれた中庭からも明るい光を取り入れる事
が出来ます。ホールやキッチンなどはお茶
畑の一望出来る大きな窓がありますが、診
察室や入所室などの面する廊下は、中庭か
ら入る優しい光を取り入れ、穏やかな空間
となるように計画しました。また、お母さ
んの診察を待っている子供やお父さんも飽
きずに過ごせるベンチやソファのある玄
関ホールを設け、訪れる人が安心感と心地
良さを感じられるようになっていきます。玄

関からホールに続く杉のルーバー天井は、
助産院の内部空間を特に印象づけています。
寄棟と呼ばれる屋根形状に合わせた天井と
し、L型に広がる天井面が奥行きを感じま
す。外観から見える屋根上の四角い窓が排
煙と換気のための設備となり、ルーバーの
間から風が通り抜ける設計となっています。
これらの設備は住宅ではあまり見られませ
んが、不特定多数の方が利用する施設には
義務付けられ、室内から見ると少し機械的
で冷たい印象を与えます。保育園などの社
会福祉施設では見え方を注意し、今回の様
にルーバーの中に隠して設置しています。

完成から3年。この空間で色々なイベン
トや教室が行われていると聞きました。訪
れる方も様々で、最近ではお茶畑助産院さ
んに行ったことが当社に住宅を依頼するきつ
かけになったと嬉しいお話も聞くことも増
えました。開放的なホールは、明るさや清々
しさ、また窓からの景色や、通り抜ける風か
ら四季の変化を感じられる空間だと思いま
す。同じ悩みを持った方々や出産に対して
不安を抱えているお母さん、などがこの場
に集まり、毎日様々な会話が生まれている
と思えます。心地よい空間で話をするだけ
で心が落ち着き、また新しい一步を踏み出
して行くことが出来ます。



エントランスの階段はゆったりとした高さとした。階段の上り下りの際も植物に目が行き、四季を通じて楽しい発見がある。階段手摺や表札のある大谷石の壁も素材感が出ている。



外観を駐車場側から望む。住宅の進入路であるスロープを利用し、高低差のある敷地の中でもスムーズに玄関にアプローチ出来る工夫をした。アプローチ前の植栽が成長し、建物をやわらかく見せている。

樹々が成長すると共に この地域に根付いていく

建物の完成時にはまだ無かった中庭やエントランスの植栽、開業して少し経過した時に地域の造園屋さんにお願いで豊かな緑のスペースをつくってもらいました。山の雑木を中心につくられた植栽は、四季を通じて楽しめる樹々が植えられています。高木や中低木、地被植物も様々な種類が植えられていて、見ているだけで楽しい植栽スペースになっていると思います。元々の場所はお茶畑でゆるい傾斜のある地形でした。コンクリートで造成して平らな敷地をつくることも出来ましたが、周辺のお茶畑との景観を意識し、自然な形状を活かした造成で建築しました。地盤改良や基礎工事などは苦勞がありました。最終的に斜面を植栽で隠し、一見すると高低差を感じない外観になったのでとても良かったです。平地に建築する事に比べ、高低差のある敷地に建築する事はとても難しく、段差をどこで解消するか？ スロープや階段、時には建物内部に段差を設けてスキップフロアーとするなど、計画や構造が複雑になります。今回は助産院という事で、利用者の事を考えると建物内部に段差をつける事は避けられたので、どうしても外部で段差を解消する必要がありました。ですが、長く急な階段は大きなお腹のお母さんの事を考えると無理があり、逆にスロープだけでは登り切るのが難しい高さでした。元々住まいのためにつくられていた進入路のスロープがあり、その一部を利用しつつ緩やかな階段を設置する事で問題を解消し、無理のない計画が出来たと思います。写真ではわからないですが、裏口にも一つスロープを設け、階段の利用できない方も出入りできる入り口を設けています。

助産院を外部から見ていると、樹々が植えられ成長した事で屋根や外壁などの建物の輪郭がやわらかくなってきたと感します。建築物は直線で出来ている事が多く硬い印象を受けますが、植栽が建物を隠す事で角が取れ、山や畑などの周辺の景色に馴染んだ建物になっていきます。植栽があることで鳥や蝶が集まり、鳴き声や飛び交う姿を美しく見せてくれるようになります。人も自然と共にある、この場に居るとそう感じずにはいられません。まだまだこれから樹々が成長し、今よりもっと自然に包まれた建物になると良いなと思います。



心を癒す木の空間

当院は、令和と共に自宅出産専門助産院から有床助産院にとバージョンアップし、有床助産院となってから4年目を迎えています。ご縁あってこころ木造建築研究所さんに助産院の建築をお願いし、本当に良かったと思っています。

当院は、当院でお産する人も、他院でお産をする人も皆さんに利用していただき、ママたちのコミュニティーの場であることを目指しています。お陰様で、お産をされる方も少しずつですが増え、教室や講座などを利用してくださる方も増えてきました。また、コロナが落ち着き始めたこともあり、最近は何日何かしらの教室や講座で賑わっています。

初めて当院に来院された方が口々に「木の香りがいいですね。」「心地よい空間ですね。」「いつまでも居たくなります。」「リラックスでき、ここで産んだら安産になるそうですね。」「住みたいくらいですね。」と言った感想をおっしゃってくださいます。玄関を入るとすぐに木の香りがふわぁ〜と漂い、正面に見える中庭や大きな窓から見える茶畑などの緑の景色、風の通りも抜群で気持ちの良い風がホールを通り抜けます。昼間も講座がない日は鳥の泣き声が時々するくらいに静かで、夜は虫の音が聞こえるだけの心落ち着く空間に、毎日ここで過ごしている私が一番癒されています。

赤ちゃんや子供たちもこの空間が大好きな様で、「助産院に来ることを楽しみにしている。」とよく言ってもらえます。晴れた日はバルコニーを子供たちがゲタゲタと笑いながら走り回り、小さな子供たちもあちこちハイハイをして、赤ちゃんたちはスヤスヤと寝てくれます。木がこんなにも人の心と繋がり、穏やかな気持ちにさせてくれるんだということを毎日感じています。

この助産院ができてから、少しずつ日々のリズムができ、ほんの少しですがゆとりもできてきました。なので、そろそろ次の段階として、もっと沢山の方に利用してもらえるような講座やイベントを企画していこうと思っています。この夏には、子供マーケットやコンサートも予定しています。他にも沢山の教室を行っていますので、是非一度足を運んで遊びに来てください。「もうお産はしないんですけど、どんなところなのか見てみたい。」と言って来られた年輩の女性もいます。助産院に興味・関心のある方は、ご遠慮なく是非お越しください。

ママの笑顔は。家族や子供たち、そして社会を明るくします。ママが笑顔でいれる様に、助産師としてこれからも地域の皆様と力を合わせ取り組んでいきたいと思っています。

ハイサイド窓から光が差し込む分娩室。段差のある畳スペースや水廻りは高橋院長の経験から設計し、手順や動線を考えてつくられている。



玄関に入るとすぐ目の前に広がる中庭の緑。四季や時間で見える景色が違い、とても清々しい気持ちにさせてくれる。広い玄関にはソファが置かれ、診察の待ち時間を過ごしたり、ちょっとした休憩場所にもなっている。



お茶畑助産院

院長：高橋 美穂

TEL 0538-31-2380

FAX 0538-31-2381

携帯 090-8457-5480

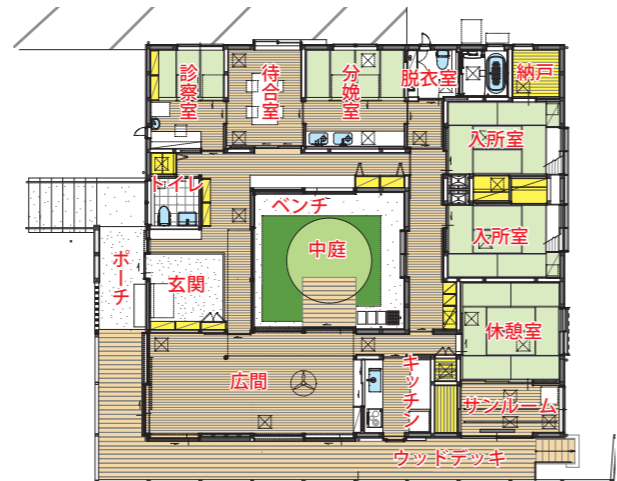
静岡県袋井市豊沢2158-3(駐車場20台あり)

診療時間/事前予約制

平日 午前9:00~12:00 午後13:00~17:00

土曜 午前9:00~12:00

休診日/日・祝(乳腺炎などの緊急時のご相談ください)



1F 平面図

分娩施設のある助産院として開業し、まだ短い期間ですが、様々な方が相談や診察に来るようになってきたと思います。私の周りでも友人がお茶畑さんで出産したとか、教室に行ってきたなどの声をよく耳にします。高橋院長は、「助産院という場所をもっとたくさんの人に知ってもらいたい」と話します。出産に対しては大きな不安がある事は事実。医療が必要な方もいるし、出産は別の施設の場合もあるけど、ママになる前の知識をつけ、ママ同士の交流や、ママになってからも相談ができる場所。助産院はそういう地域の中での当たり前の場所でありたいと考えていると思います。高橋院長が助産院をたくさんの人に知ってもらいたいと願うのは、悩み不安を抱える方が一人でも減り、解決の道を一緒に考えてくれる場所の存在を知ってもらいたい、あたたかく優しく、いつでも笑顔で迎えてくれる場所、そんな場所をつくり、みんなが利用してもらおう事が一番の願いなのかもしれません。お茶畑助産院に行くと、いつも心地よい風が吹いているように感じます。玄関ポーチのベンチ、茶畑が一望出来るベランダ、中庭を望む待合のソファ、ベンチ、風に当たるだけで気持ちが晴れ前向きになれる、そんな場所だと思います。ぜひ一度足を運んで見てください。建物と院長が、やさしい笑顔で迎えてくれると思います。

「ココラボ設置店」より…



私の好きな
愛い道具たち vol.2

両手に注ぎのあり
ミルパン

うつわ暮らしの道具テクラ
店主 宮入由起

静岡市葵区で仕事の商品を
みなさまにお届けするお店を営んでいます。主人と
2人の娘の4人暮らし。夢は旅をしたから絵巻を巻く
旅日記を出版すること。仕事も暮らしも染みガエター

みなさん、こんにちは！テクラの
宮入由起です。お元気でしょうか。
今回も私の好きな道具たちを
紹介させていただきます。私の毎日に
欠かせない出来ない、河原崎さんが
作られている、金矢の中華鍋、フライパン
などをご紹介します。「金矢」と聞くと
ハードル高く感じる方も多いかと
思いますが、河原崎さんの金矢の道具は
とても使いやすくて、ご安心下さい。
使い方は上へ火にかけて熱したとこに
油を注ぎ、食材を入れます。使用後は熱いうちに
洗います(洗剤は使わない)火にかけ水ききしたら
OKです！持ち手の型も特徴があり、くると車輪のよう
になっているため、熱くなりにくく、炭火程度の料理は持ち手を



この持ち手
5センチに作りかたです

素手で持って作る
ことが出来ます。
(とこも具かたです！)

河原崎さんは金段造(たんざう)と呼ばれる方法で1つ1つ
800-1100℃まで熱した金矢を木槌で叩いて、形を作っています。全ての
工程をおひとりごなし、1日に作る数も限られています。毎日仕事から
生まれる金矢の道具たちは、我が家のキッチンでの佇まい、細部の
美しさがとても良いです。そして何より、お料理が美味しくなります！
葉物はしゃきとしゃき、お肉も美味しく炒まれます。香りを含め
料理の時間がかかると変わります。ライントップは中華鍋、フライパン
パエリアパン、ミルパンと
ご用意しています。上がたら
テクラのお店又はオンライン
ストアでご覧ください。
結婚祝い、新築祝いにも
おすすめです。
心から、おすすめ道具です!!

Instagram @tekura_miyairi @tekura2013yk(私)

子どもの本とおもちゃ百町森

静岡市葵区鷹匠1-14-12
ウインドリッチ1F
☎:054-251-8700

鍼灸・指圧 六番町 ぬぐすい

静岡市葵区六番町1-9
☎:054-221-5489

Rokkodo

静岡市葵区鷹匠1-8-6
☎:054-253-3811

パンの材料屋 maman

静岡市駿河区桃園町8-10
☎:054-256-1250

サルナートホール

静岡市葵区御幸町11-14
☎:054-273-7450

SUQ(スーク)

静岡市葵区瀬名中央1-7-55
☎:054-659-3410

レストラン セラヴィ

静岡市駿河区馬淵4-10-6
☎:054-287-8115

Quitoshop

静岡市葵区安倍町23
☎:054-254-2099

箸舗 さくや

静岡市葵区紺屋町11-1
ホテルガーデンスクエア
静岡1F
☎:054-221-0084

静岡県立図書館

静岡市駿河区谷田53-1
☎:054-262-1242

うつわ暮らしの道具 テクラ

静岡市葵区大岩1-1-25
☎:054-246-2856

菜食とおやつ Locomani

静岡市葵区鷹匠1-10-6
☎:054-260-6622

cotory(ことり)

静岡市葵区伝馬町9-18
KKビル201
☎:054-293-5355

ゴードンコーヒー

静岡市駿河区小黒1-10-37
☎:054-269-5487

チクタク open the kitchen

静岡市葵区丸山町36
☎:080-9494-2160

UN JOUR

静岡市茶町1-27-2
☎:054-255-6007

Ecke

静岡市葵区北安東1-5-18
☎:054-659-4118

skywalker bakery&cafe

Instagram @skywalker_cafe

Ouchiのごはんやさん

静岡市葵区東草津町10-1
aowarau 内
Instagram @ouchi.no.gohanyasan

喫茶室まにまに

静岡市 葵区鷹匠2-14-12
ラ・ティエーラ鷹匠1F
Instagram @kissa_mani

蕎麦処きしがみ

静岡市駿河区宇津ノ谷232-2
☎:054-258-5664

花仕事ヴェルテ

静岡市駿河区宮本町5-9
☎:054-340-2587

茶屋すずわ

静岡市葵区安西3-68
☎:054-271-1238

motonaga

静岡市葵区鷹匠3丁目5-14
第二ふじのビル2階北
Instagram @motonaga_

サレベ

静岡市清水区草薙1丁目9-3
☎:054-345-0354

蒲原屋

静岡市清水区真砂町6-25
☎:054-366-4354

[KoKolab.] Facebook ページ

[KoKolab.] Instagram

KoKola**b**.

隔月刊 ココラボ通信 No.97

2022年6月発行

発行人 有限会社ころ木造建築研究所
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町1047-2

TEL : 0547-54-4556

FAX : 0547-54-4557

http://www.kokolab.jp

E-mail : office@kokolab.jp

担当

山崎良江(「ココラボ通信設置店より…」担当)

編集… Branch 村上幸枝

印刷所… 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や
コピーを禁じます。



【購読を希望されます方へ】

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、E-mailのいずれかでお申込み下さい。

年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円

(上記料金は発送費として頂いております。)

※当社、もしくは通信設置店では、無料配布しています。

会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の家造りを行っている設計事務所です。隔月発行の『ココラボ通信』、また『こころばスクール』やイベントなどを通し、住宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

編集後記

今回はお茶畑助産院さんの3年後を特集しました。お客さんや知人などからお茶畑助産院さんの噂を耳にするようになり、設計者としてとても嬉しいです。完成当時には無かった植栽が元気に育ち、建物を包むように成長している様子を見ると、この施設がみんなに愛され、大切な場所になってきている事と重なり優しい気持ちになります。計画当初、高橋院長の夢が実現することへの喜びと合せ、助産院と言う場所が認知されていく不安もありましたが、3年と言う短い間の中であっという間に広がり、既に地域に必要な場所になってきていると実感します。今回の計画の中で私も多くを学び、また生命の力を感じています。人とのつながり、誕生、これからこの場所で作られていく物語を今後も楽しみにしたいと思います。(山崎健治)



Information

🏠 こころばスクール開催します。

DIYを始めてみたいけど、何から始めたらいいかわからない方へ向けた初心者向けコースです。ココラボの家づくりで出た端材を使って子どもベンチを製作してもらいます。子どもたちの夏休みの工作にもピッタリ！木材の性質や材料の選び方、道具の種類や使い方などを勉強しながら一緒に楽しくつくってみましょう。大工さんとココラボスタッフがしっかりサポートいたします。

◆ 日時：2022年7月24日(日) 9:00~16:00(要申込)

※こころばスクールの詳しい情報は
ココラボホームページ [http://www.kokolab.jp] でご覧ください。



🏠 木の家相談会

木の家の仕組み、予算など、何でもご相談ください。

◆ 日時：7月2・3日(土・日)
8月6・7日(土・日)
10:00~17:00(予約制)

◆ 場所：『こころばの家』

🏠 こころばの家オープン日

コロナウイルス対策として予約制で行います。
ご希望の日時をご連絡ください。



7月 2 (土) 3 (日)
10:00~16:00

8月 6 (土) 7 (日)
10:00~16:00

『こころばの家@静岡』 完成間近！

昨年の夏からスタートした『こころばの家@静岡』、基礎工事から建前までは順調に進んでいたのですが、他の現場の進捗や日々の忙しさの中、しばらくお休みをいただいていた(冬眠…)。ですが、今年の春にやっと再開し、いよいよ完成間近となりました。

『こころばの家@静岡』は小さな展示場兼事務所、そして小さな小さなショップのある建物です。展示場部分は『こころばの家@島田』とはまた違ったコンセプトでつくられ、新しい素材の提案や木の使い方、コンパクトに暮らす工夫をぎゅっと詰めた建物です。アトリエプラトーさん制作の螺旋階段も見ごたえありますよ。一階に加え、二階にも打合せスペースをつくり、大きなベランダからの心地良い風、景色も楽しみです。ショップはテーマに合わせて入れ替え制で企画したいと思っています。第一弾は私の大好きな北欧家具を展示したいと思っています。行き交う人がふらっと立ち寄り、楽しい会話の生まれる空間になると嬉しいです。

7月の完成後、準備を整えて皆様に見ただけイベントを企画したいと思っています。もう少しお待ちください。では、お楽しみに…。

◆ こころばの家@静岡

静岡県駿河区新川2丁目5-29

